

授業科目名	アントレプレナーシップトレーニングⅡ
科目番号	01ER104
単位数	2 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 AB 火 4, 5
担当教員	大根田修、原田義則
授業概要	アントレプレナーシップトレーニングⅠの受講を前提に、講義とオフキャンパス学習を通じて、起業案作成に必要なスキル（プロジェクト・マネジメント、市場調査、組織構築、資金計画、スケジューリング、リスク管理、出口戦略）などを学習する。将来に向けた視野の広がりや、価値あるネットワークの構築にも資する。
備考	英語で授業
授業形態	演習
教育目標との関連	食と健康に関する特定のテーマに基づいて、企業または実現可能性の高いビジネスモデルを創出できるようになる。
授業の達成目標	ベンチャー企業の起業やビジネスの継続知識・技術を、起業シミュレーションを通じて学習する。具体的には国際食料健康科学専攻で修得が求められる汎用的知識・能力、特に、食料健康科学の専門知識の活用、アイデアを具体化・実行する実践力、プレゼンテーションや自己アピールなど表現力、多国籍間における対話・交渉力など統合的プロジェクト・マネジメント力を習得する。
授業計画	<p>1, 2 ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本授業の目的とゴール ● 自己紹介、グルーピング <p>3, 4 ジェネリックスキルⅢ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスモデルキャンパスⅢ <p>5, 6 ジェネリックスキルⅣ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 概論 ● ビジネスモデルキャンパスⅣ <p>7, 8 ケーススタディ 1: 製薬企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 概論 ● 世界のトレンドと将来課題 ● Q & A ● 顧客対応部門とバリュープロポジション <p>9, 10 ケーススタディ 2: 産学連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オフキャンパススタディ ● 産学連携と起業 ● ロボット技術と農業 ● 物流 ● Q & A ● 顧客対応部門とバリュープロポジション <p>11, 12 ケーススタディ 3: JICA (Japan International Cooperation Agency)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オフキャンパススタディ ● JICA と図書館 ● Q & A ● 顧客対応部門とバリュープロポジション <p>13, 14 ケーススタディ 4: 製薬企業の R&D</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オフキャンパススタディ ● 最先端テクノロジー ● ロボット技術と製薬企業 ● Q & A ● 顧客対応部門とバリュープロポジション

	<p>15, 16 ケーススタディ 5: 食品企業</p> <ul style="list-style-type: none"> • 概論 • 世界の食開発 • 物流 • Q & A • 顧客対応部門とバリュープロポジション <p>17, 18</p> <ul style="list-style-type: none"> • ビジネスモデルの提案へ向けた準備について <p>19, 20 プレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> • ビジネス案プレゼンテーション • Q & A
履修条件	アントレプレナーシップトレーニングIを必ず受講すること。
成績評価方法 (割合・評価基準・提出期限等)	授業中の積極性 (質疑応答状況等) (40%) ビジネスモデルアイデアについてのチームでの協働状況とプレゼンテーション (60%)
授業外における学習方法	教科書を読み、授業外で議論すること
教材・参考文献・配付資料等	Science Business: The promise, the reality, and the future of biotech. Gary P. Pisano
オフィスアワー	担当教員： 大根田修 電子メール： oohneda@md.tsukuba.ac.jp ※平日のみ
その他 (学生に望むこと等)	
関連科目	アントレプレナーシップトレーニングI バイオアントレプレナーシップトレーニング キャリアパス・セミナー
キーワード	起業家精神、マネジメント、オフキャンパススタディ、ビジネスモデルキャンパス